

# すまいるん vol.35

社会福祉法人 恩賜財団 済生会  
済生会熊本福祉センター

障害者多機能型事業所  
就労継続支援A型・B型  
就労移行支援  
済生会かがやき

障害者多機能型事業所  
就労継続支援B型  
生活介護  
済生会ほほえみ

障害者多機能型事業所  
就労継続支援A型・B型  
済生会ウイズ

済生会しらふじ保育園  
児童発達支援センター  
済生会なでしこ園

済生会グループホーム事業所  
済生会熊本福祉相談支援センター  
済生会なでしこ園相談支援事業所  
熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!! 済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、保育園、児童発達支援センター、熊本県地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約400名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

## 済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理 念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

基本方針 ・ライフステージに応じた自立を支援します。  
・専門性と施設の機能を活かし、地域社会に貢献します。  
・利用者主体の福祉を実践します。

## 盛り上がった!! ドドンパ秋祭り

10月18日土曜日の秋晴れの日に、しらふじ保育園の園庭では、ドドンパ秋祭りが行われました。

子どもたちはもちろん、保護者の方々も楽しみにしていた秋祭り。

カレーに焼きそば、唐揚げにポテトなど、美味しそうな匂いでいっぱいの保育園でした。

子どもたちは役員のお母さんたちが読んでくれる紙芝居に夢中になったり、くじびきでもらったおもちゃに喜んでいました。

毎年恒例の抽選会は、今年10周年記念ということで、商品の数は50以上もあり、お食事券や新米10キロ、妖怪ウォッチのおもちゃなど大人も子供も大盛り上がりで幕を閉じました。



あなたは  
施設・園に満足していますか?

## ～福祉センター『満足度アンケート』集計結果より～ H26. 9月・10月実施

サービス向上委員会では年に1回、内田施設を利用されている方、またなでしこ園、しらふじ保育園を利用されているご家庭に対して、『満足度アンケート』を行っています。  
◎施設・園の環境について◎職員の態度・対応◎給与や工賃についてなど、6つの観点からアンケートを行い、今年度もたくさんの回答をいただきありがとうございました。各施設・園の総合結果と、今後の対策についてのコメントを掲載します。

かがやき・ほほえみ・ウイズ・グループホーム 利用者・従業員212名回答

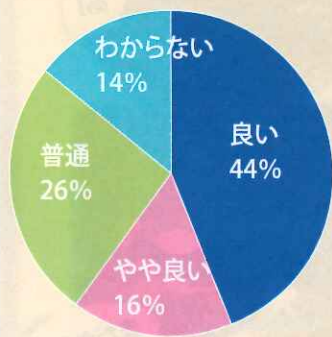
しらふじ保育園 保護者86名回答

なでしこ園 保護者25名回答



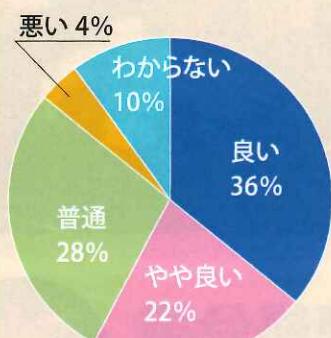
### 済生会かがやき

今年度の調査では「良い」と答えた人が29%と昨年より9%増加し、「悪い」と答えた人は、今回の調査ではいませんでした。意見としては、食事、休憩スペースについて寄せられました。食事面は12月に病院のランチメニューを取り入れることで改善された面も多く、休憩スペースに関しては来年度事務所移転と共により休憩がとりやすい環境になるように検討しています。日中活動に対しては、利用者参加型の計画を来年度取り組めるように計画を予定しています。



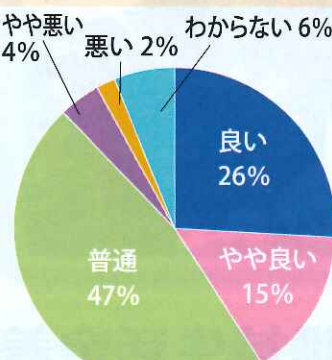
### 済生会ほほえみ

今年度は、昨年度の総合評価に比べ、「良い」「やや良い」が6%アップしました。アンケートを行う中で、利用者の方から多くの意見や声が聞かれました。これらの意見は、今後土曜日活動に取り入れる等して反映させていく予定です。さらに利用者の方の困り事に早期に対応したり、絵や図等を用い視覚的に配慮したわかりやすい説明を行うと共に、自ら意見や言語を表出することが難しい利用者の内なる声を受け止める工夫を講じていきたいと考えています。



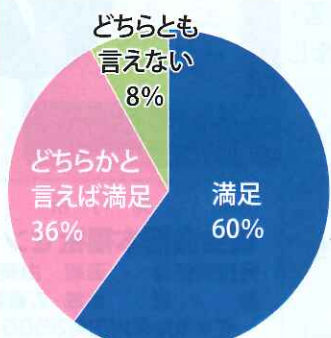
### 済生会ウイズ

A型26名B型24名、計50名の方からご回答いただきました。前年度のアンケートと比べると、総合的な評価では良いが23ポイント増加し、半数以上の方が、良い・やや良いとの評価でした。職員対応や仕事についての評価が高かった反面、食事や設備面、工賃給料面で不満を感じている方もいるため、今後皆さんのご意見をお聞きしながら改善に努めてまいります。



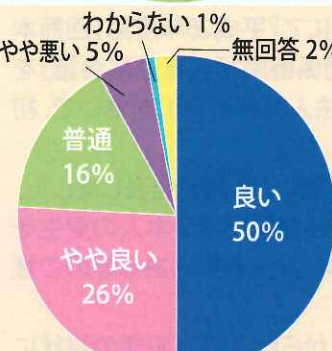
### 済生会グループホーム

平成26年度は良い・やや良い41%、普通47%と、昨年と比較すると「良い」との評価は減っているものの、不満も減って「普通」との評価が多くなりました。内容としては職員の対応や余暇時間の過ごし方などについての要望がありましたので、接遇についての改善とボランティアの活用などを今後の課題にしたいと考えています。



### 済生会なでしこ園

総合的には満足が60%、どちらかと言えば満足を加えると96%となりました。療育・支援についての中で、職員の園児への接し方では「満足」が85%、どちらかと言えば満足も入れれば100%と、園として有り難い評価でした。但し、保護者への細かいフォローや情報の伝え方等には工夫すべき点や課題も見えてきたため、調査以降、それらに留意した施設運営に努めていきたいと思ひます。



### 済生会しらふじ保育園

76%の人が「しらふじ保育園に満足」・16%が「普通」と回答されています。苦情への対応での評価がやや低く、保育内容・給食、おやつ・環境に関しては昨年同様により評価でした。個別に、職員が十分に子どもの様子を伝え、理解を得ることがもっと必要で、今後も満足度向上のため改善していきます。



## ☆クリスマス☆

12月といえば、『クリスマス!!』ということで、きりん組では、季節を感じることができる様々な活動を行いました。絵の具や色ちり紙を使っての“リース作り”や、“クリスマスツリーの飾りつけ”、また、お部屋を真っ暗にして、ピカピカ・キラキラ光る玩具で遊ぶ“ひかり遊び”、さらにはお父さんやお母さんと一緒に“クリスマス会”も行いました。子どもたちは、真剣な表情で制作したり、不思議そうな表情でひかりを見つめたり、お父さんやお母さんと一緒にニコニコ笑顔で楽しんだり、たくさんの表情を見せてくれました。



## 済生会なでしこ園

## 餅つき

12月19日にしらふじ保育園では餅つきがありました。

その週は寒波が来ていて、寒さが心配でしたが、当日はポカポカといいお天気で、昔ながらのうすときねを使ってもちをつきました。餅つきの手伝いにと、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん方がたくさん来てくださいました。お手伝いに来られていたおじいちゃん、お父さんたちがつくりズムに合わせて、「よいしょ〜! よいしょ〜!」と掛け声をかけたり、つくまねをしていた子どもたち。自分たちがもちをつく番になると、おじいちゃんたちに、きねの持ち方、足の開き方など教えてもらい、きねの重さと格闘しながら、もちをついていましたよ。

子どもたちだけでなく、お父さんたちもおじいちゃんたちに餅のつき方を教えてもらい、世代間の交流も見られた今年の餅つきでした。

もちをついた後は、つきたての柔らかいもちをほおばって食べました。これで、新しい年を迎えられ、来年も体も心も元気に過ごせることと思います。

## 済生会しらふじ保育園



## かがやき秋のレクレーション

## 済生会かがやき



11月8日(土)に大型バスを利用して、『秋のレクレーション・鹿児島県水族館』へ長距離旅行をしてきました。当日は天候には恵まれたものの、鹿児島県へ入ると桜島の灰という洗礼を受け、真っ白になった自動車や市街地の様子を見て「すごい!」と歓声が上がっていました。

水族館内でイチオシのジンベイザメですが、残念ながら我々が訪問する約一週間前に海へ帰ってしまったということで、今回はサメの大きな巨体を目の当たりにすることはできませんでしたが、イルカやアザラシの他にも大きな水槽の中で泳ぐたくさんの貴重な魚たちの様子を分かりやすく楽しみながら見学することができました。また、ドルフィンボートで昼食の時間をとったり、各グループごとに充実した水族館内外の活動となりました。

県外への外出はなかなか機会がなく、利用者のみんなも久しぶりの遠出にウキウキしたのではないかと思います。今後も利用者の皆さんが楽しめる活動内容を検討していきたいと考えています。



## ウイズ秋のレクレーション

## 済生会ウイズ



平成26年11月8日(土)に済生会ウイズの秋のレクレーションを行いました。

まずは御船町恐竜博物館へ行き、展示されているリアルな恐竜の模型や骨格標本を見学しました。大型肉食恐竜「ティラノザウルス」の模型(私のカンでは、10mの大きさがあったようです)に見下ろされて、圧倒されるほどの迫

力!思わず感嘆の声を上げている方もいらっしゃいました。

お昼には緑川沿いの津志田河川自然公園にてバーベキューを行ないました。グループ毎に河原の石を使って焼き場を組み上げ、うちわで炭火をあおいでカルビやロースや豚バラなどおいしい肉(全部で18キロ分)を焼いたり、焼きソバも作る予定でしたが麺を忘れてしまっで野菜炒めになったというハプニングもあり、楽しいひとときを過ごすことができました。



## ほほえみ秋のレクレーション

## 済生会ほほえみ

9/27(土)に河内町の優峰園フルーツランドにて梨狩りを行いました。

例年に増して台風の心配がありましたが、晴天に恵まれ、梨園では赤ちゃんの顔ほどの大きな梨がたわわに実っていて「大きか梨なあ〜!」と歓声が上がりました。梨狩りにちなんだ…あの某市の非公認ゆるキャラ!?「ふなっしー」の隠れシールを探して商品をもらうゲームをしたり、ゆるキャラのマネをしたり、おいしい梨を口いっぱいほおばって、皆さん思い思いの梨狩りを楽しめました。

午後からは『ゆるキャラクイズ大会』があり、豪華景品をゲット!

また昼食はオムライスとだご汁定食セットのセレクトメニューでした。

今年の春レクはいちご狩り、秋レクは梨狩り…来年は何狩りでしょうか!(^^)!



## スプリンクラー工事完了

## 済生会グループホーム事業所

平成26年度は並建町にあるグループホーム「さいせい並建」の4棟に、「平成25年度熊本市社会福祉施設等施設整備補助金」を活用した、スプリンクラー設置工事業を行いました。

グループホームは夜間防災体制を整備し、定期的に避難訓練を利用者、世話人、支援員全員で実施しています。スプリンクラー設置により万が一の場合は初期消火設備として確実に作動し、防火対策も格段に向上しました。

これからも安全、防災への意識を高めていきたいと思っています。



## 「今年度もお世話になりました」

2月1日、交通センターホテルにて『済生会ひまわり家族会・施設懇親会』を行いました。

ご家族のみなさん約50名が参加され、各事業所からは来年度の事業計画や利用契約書の内容の説明を行い、活発な意見交換の場となりました。

寒い中、遠方からもお集まりいただき、ありがとうございました。



## 第1回 熊本県地域生活定着支援事業関係機関担当者連絡会議

10月30日(木)熊本テルサにて『平成26年度第1回熊本県地域生活定着支援事業関係機関担当者連絡会議』を開催しました。本年4月に当法人が事業を引き継いで、初

めでの連絡会議です。

会議では当センターの支援状況と課題について説明を行い、事例を発表しました。熊本自営会、保護観察所、熊本県弁護士会等からは、司法の立場だけで本人の更生を促すことは難しく、今後も更に福祉と密に情報交換し、連携して必要がある等のご意見を頂きました。

外部講師としてお招きした熊本県警察本部村上敏幸氏からは、「組織犯罪の現状に

ついて」の演題で講演を頂き、各機関より活発な質疑応答・意見交換がなされ、関心の高さを伺い知ることができました。

熊本刑務所からは、暴力団離脱者への福祉的な支援、就労支援について問題提起され、課題を共有することができました。

連絡会議は年2回を予定しており、次回開催は平成27年3月の予定です。

(熊本県地域生活定着支援センター)

発行所

済生会熊本福祉センター

発行責任者 道端 由美子

編集 地域・広報委員会

熊本市南区内田町3560-1

TEL 096-223-3330

FAX 096-223-3429

http://www.sk-fukushi.jp/